

## 深めよう！楽しもう！ボーダーレス高血圧学

## 深めよう！楽しもう！ボーダーレス高血圧学

**Meet the Professor**

さあ皆様、今回の日本高血圧学会総会で聞き逃してはいけないセッションです。あの荒川規矩男先生が登壇されます。荒川規矩男先生は世界で初めてヒトアンジオテンシンの単離に成功し、構造決定を行いました。この妻さは、高血圧に関わる人は全員お分かりでしょう。その後も、ヒトアンジオテンシンII生成系やキニン・テンシン系などを発見されました。また、運動療法による降圧効果の研究や、食塩と血圧の研究をされてきました。国際高血圧学会の重鎮でもあられ、高血圧治療ガイドラインにも深く関わられるなど、高血圧学の進歩において国際的に多大なる功績を残されてきた、まさに私たち高血圧の診療・研究に携わる者にとっては「真のレジェンド」です。そんな荒川先生のこれまでの人生や高血圧学への想いを、福岡でリアルに拝聴できるこのセッションを聞かずに高血圧に関わっているとはいえませんが、ぜひお集まりください。

**クイズバトル選手権**

第46回？クイズバトル選手権

司会：谷田部（遠隔）淳一&佐々木（矢尻）緑

「高血圧界の偉人って？」「高血圧学会の開催場所は？」次世代を担う若手と学会レジェンドポ●モ●とのガチンコクイズバトルに参加しましょう。年の差を感じるかもしれない、留学中にテレビで見たかもしれないようなクイズ形式で、高血圧を楽しく学ぶ（笑う）40分です！

**症例道場バトル ドクター G: 究極の診断チャレンジ**

原因不明の病態に対する診断プロセスを競う「症例道場バトル ドクター G」が、リニューアルされ、高血圧学会にて蘇りました。原因不明の病態に苦しむ患者を診断し、治療へと繋げることが求められます。

4つの大学病院から若手医師が集まり、熾烈な戦いを繰り広げます。

優勝者には豪華な賞品？が用意されています！「Generalist」の称号を手にするのはどの大学か？超難問の症例を、あなたは解明できるでしょうか？

皆様のご応募を心よりお待ちしております！

**開業医の現場（実地医家部会より）**

高血圧の日常診療の大部分は全国の開業医が担っています。日本高血圧学会には少し前より「実地医家部会」が発足しており、臨床の担い手である実地医家が、学会活動にも参加し、シンポジウムでの発表や、次のガイドライン作成の一旦を担うまでになっています。このようなユニークな部会は本学会にしかなく、部会員のバックグラウンドも内科医とは限らず、多様性の塊といった感じになっています。現在では、製薬メーカーと組んで市民啓発用のパンフレットを作成したり、自治体と一緒に活動なども行なっています。本企画では、最前線で活躍する部会員の活動の様子を生で聞いていただき、わたし達の前向きな取り組みに共感いただける新規メンバー獲得を目指したいと思います。

**公開抄読会**

私たちは、持っている疑問への答えや新しい知見を求めて日々論文を読みます。しかし、自分だけの視点で見ていると、本当にこの理解で良いのかと迷い、漫然と読み過ごしてしまうことはありませんか。

公開抄読会では、出版された論文の中から、高血圧と関連の深いトピックスを取り上げて、得られた知見を聴衆の皆様と共有することで、論文の示す結果が、高血圧研究や診療におけるコンセンサスや問題点にどのような意味や影響を持っているかを、登壇者だけでなくフロアの参加を交えたディスカッション方式で明確化していきます。さて、どのような話題が注目の的となるのか、是非ご参加の上お楽しみください。

**災害における高血圧の重要性**

「災害時における心血管イベントゼロを目指した血圧管理」

東日本大震災から13年経過したが、振り返ると毎年日本各地で様々な災害が発生しており、災害医療に関して無関心でいられる状況ではなくなってきている。

ところで、災害後に心血管イベントが増加することはよく知られている。一方で、心血管イベントの発症には高血圧が大きな影響を与えており、災害時の心血管イベントの予防には血圧の管理が最も重要であるといえる。

そこで、本講演では東日本大震災後に始まった南三陸研究で得られた知見をもとに震災後急性期のみならず、慢性（復興）期にいたるまでの長期間にわたり被災者に対する血圧管理のポイントをまとめ報告する。

# 症例道場バトル! ドクターG



第46回日本高血圧学会

あなたは診断できるかな?

CASE DOJO  
BATTLE

DOJO BATTLE

DR. G SESSION

2024年10月13日

15:55~16:35

国際会議場4階第6会場

企画：高血圧学会活性化WG

「Chat GPT4.0を使用して日本高血圧学会が作成」